

ゼオライト比較評価

		セシウム134	セシウム137
土	江戸川区松本	118.01	436.47
表層～2cm	庭	+/-14.07	+/-51.51
土	江戸川区松本	ND	ND
深さ5cm～10cm	庭	5.81+/-2.88	7.24+/-6.2

ゼオライト散布後約一年半後

		セシウム134	セシウム137
砂	江戸川区松本	34.83	228.25
表層～1cm	庭	+/-3.24	+/-16.71

上記結果はセシウム134が半減期を考慮して大体半分以下になり、さらに半分くらいの1/4くらいになっておりセシウム137も同様に半分くらいになっているので、ちょうど半減期分を差し引いて半分くらいになったといえそ

		セシウム134	セシウム137
土	江戸川区西葛西6丁目	63.34	209.45
表層～5cm		+/-7.62	+/-24.55

ゼオライト2回？散布後

		セシウム134	
土	江戸川区西葛西6丁目	39.37	236.42
表層～5cm		+/-3.49	+/-17.23

上記結果は134の半減期考慮した分より若干数値が低いものの137に関しては多少上がっておりこの上昇は測定場所や資料の誤差の範囲と思われ、ほとんど変わらずと見て取れる

m社長の見解では土壌の中にセシウムが入り込み土と結合してしまったと思われる。
また、水溶した時にはゼオライトがあることで植物への移行率は下がると申しております。

自分の見解ですが、m社長の見解を取り入れて今までのチェルノブイリでも粘土層の上まできてそれより下には行ってなく粘土層に吸着沈殿しているという事で、今回の件も土にそのような結果が現れており、庭での結果は砂利であったために下に沈殿し半減したと思われる。

自分の予想では幼稚園の土の状態は上2cmが砂利。その下2cmから15cmまで粘土層であったため、上で採取したセシウムが検出されたものは上の砂利の部分、NDのものは2cmから下の粘土層みたいな土の部分であるため、今回はゼオライトの効果を見るためにあえて、表層の1cmだけを採取したら半分になっていた。

よって砂利はセシウムとゼオライトを吸着したものを沈めやすく、土は沈めにくいというのが出ているのではな予想通りの結果が得られたのではと思われる。

今後、土や粘土層に吸着してしまったものを効率良く取り除いたり、沈めて(簡易除染)いく方法を検討もしていきたいと思う

m社長曰く熱水圧カシャワーでやると効果がやすいとの事だが、、、労力とコストパフォーマンスを検討したいと思う

24-10-14	18000
2-11-14	
24-10-14	18000
2-11-14	

14-5-16	12000
16-5-16	

]
うである

	18000
26-6-15	

5-5-16	12000
11-5-16	

いかと